

転移性脳腫瘍の手術を受けた患者さんへ 研究協力をお願いについて

本学では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2015 年 1 月から 2027 年 3 月まで当院で、転移性脳腫瘍に対する開頭腫瘍摘出術もしくは生検術を受けられた 20 歳以上の方。

2. 研究の目的について

研究課題名：脳転移がん細胞を排除するグリアネットワークの本態解明と治療・予防への応用

この研究では転移性脳腫瘍の患者さんの手術検体を用いた評価を行い、がん脳転移に対する新たな治療法を開発することを目標としています。

3. 研究の方法について

この研究では、手術で摘出した転移性脳腫瘍の標本を用います。腫瘍検体で観察されるデータをまとめ、がん脳転移の進展に関わる分子を標的とした治療法の開発に関する研究を行います。なお本研究には通常の診断・治療のために採取された検体のうち、余剰分を用います。このため、本研究の目的のみに余分に採取されることや、患者さんに対する研究を目的とした新たな負担は一切生じません。

4. 研究期間

金沢大学の承認日～2027年3月31日

5. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる情報・資料は以下の通りです。

情報：① 原発巣の病理診断と時期 ② 年齢・性別 ③ 治療歴（抗がん剤、分子標的治療薬などの使用歴）④MRI画像

試料：手術で摘出した転移性脳腫瘍組織

6. 外部への試料・情報の提供・公表

収集されたデータは学会や論文、公的刊行物などに発表されます。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究はすでに得られている情報を用いるため、新たに個人情報を扱うことはありません。なお、診療記録より得た情報については、これまで実施してきたのと同様、研究に用いる情報に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。また、これらの情報は鍵のかかる机に保管し、個人情報が流出することがないように、細心の注意を払います。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、患者個人情報などが公表されることは一切ありません。

9. 研究組織

研究責任者

中田光俊（脳神経外科，教授）

研究分担者

平田英周（がん進展制御研究所，准教授）

中嶋理帆（リハビリテーション科学領域，助教）

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構からの委託によって実施するものです。本研究の研究担当者は「金沢大学臨床研究利益相反マネジメントポリシー」に従い、臨床研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、審査と承認を得ています。この研究に用いる機器や試薬を製造販売している会社（または関連機関）との間に利害関係はありません。従って、私はこの研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切致しません。

11. 研究への不参加の自由について

あなたの情報が当該研究に用いられることについて、御家族・代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2027年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

12. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経外科）

問合せ窓口：中田光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経外科）

住所：金沢市宝町13-1

電話 : 076-265-2384